

年間授業計画

東京都立東大和南高等学校 令和6年度 教科

国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組（文系）

教科担当者：（1・2組：小野）（3・4組：飯田）（5・6組：飯田）（7組：小野）

使用教科書：（『古典探究（古文編・漢文編）』（大修館書店））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目	古典探究	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
		【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	単元：説話「宇治拾遺物語」随筆「徒然草」 ・古語と古典文法既習事項の復習。 ・登場人物の行動を注意して読み、話の展開を把握する。 ・随筆の読解に習熟する。 ・中世随筆の特色と、時代背景を理解する。	教材：「検非違使忠明のこと」「家居のつきつきしく」「花は盛り」 ・説話に興味をもつ。 ・随筆では、作者のものの見方、感じ方、考え方を理解する。 ・「花は盛り」を通じて兼好の美意識の特性を理解する。 ・中世随筆の無常観について知り、考察を深める。 ・古文単語の語彙を増やす。 ・古典文法の基礎、用言の活用、助動詞の復習。	○		○	○	【知識・技能】 ・古文・漢文の語彙や文法について「言語文化」での既習事項の復習を行い、「古典探究」の学習に生かしている。 ・古文単語・古典文法・漢文訓読などについて、知識を身につけ、課題に積極的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・各教材本文の内容や構成、展開を、叙述を基に的確に捉えている。 ・また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、鑑賞に生かしている。 ・作品の内容・時代背景について調べ、批評や討論を行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古語辞典等を用いて、古語の意味や用法を詳しく調べている。 ・定期的な課題や小テストに取り組み、古典の言語を積極的に知ろうとしている。 ・調べ学習や討論に取り組み、積極的に、学習を深め、伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	単元：故事・逸話 ・漢文訓読、解釈の基礎事項の復習。 ・故事成語、逸話と日本文学、現代日本語の関係について知る。	教材：「漱石枕流」を読み、故事成語の由来と現代語の意味について知る。 ・漢文訓読の復習。	○		○	○		○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	単元：随筆「方丈記」物語「伊勢物語」 ・古語と古典文法既習事項の復習。 ・中世随筆の特色と、時代背景を理解する。 ・歌物語の特徴、和歌と地の文の関係や表現技巧を理解し味読する。	教材：「行く河の流れ」「安元の大火」「初冠」「月やあらぬ」「つひにゆく道」 ・「安元の大火」を通じて、描写の臨場感を読み味わう。 ・中世随筆の無常観について知り、考察を深める。 ・一年次の「芥川」との関連を含めて「伊勢物語」への理解を深める。 ・古文単語の語彙を増やす。 ・古文の助詞・敬語・和歌の修辭の学習。	○		○	○	【知識・技能】 ・古文・漢文の語彙や文法について新たな知識を増やし、予習・復習を通じて定着させようとする取り組みをしている。 ・古文単語・古典文法・漢文句形などについて、知識を身につけ、課題に積極的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・各教材本文の内容や構成、展開を、叙述を基に的確に捉えている。 ・また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、鑑賞に生かしている。 ・作品の内容・時代背景について調べ、批評や討論を行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古語辞典等を用いて、古語の意味や用法を詳しく調べている。 ・定期的な課題や小テストに取り組み、古典の言語を積極的に知ろうとしている。 ・調べ学習や討論に取り組み、積極的に、学習を深め、伝え合おうとしている。	○	○	○	10
	単元：故事・逸話 ・漢文訓読、解釈の基礎事項の復習。 ・故事成語、逸話と日本文学、現代日本語の関係について知る。	教材：「塞翁馬」 ・「塞翁馬」を読み、故事成語の由来と現代語の意味について知る。 ・漢文訓読の復習。	○		○	○		○	○	○	5
	定期考査							○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
2 学 期	単元：随筆「枕草子」 ・古語と古典文法未習事項の習得。 ・平安中期の随筆の読解に習熟する。 ・平安期の女流文学の特色と、時代背景を理解する。	教材：「すさまじきもの」「中納言参りたまひて」 ・「すさまじきもの」を読み、類集的章段の特徴について理解する。 ・「中納言参りたまひて」の読解を通じて作者の感性や人物眼について考察する。 ・古文単語の語彙を増やす。 ・古文の助詞・敬語の学習。	○	○	○		【知識・技能】 ・古文・漢文の語彙や文法について習得した知識を効果的に用いて予習・復習に取り組んでいる。 ・古文単語・古典文法・漢文句形などについて、知識を身につけ、課題に積極的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・各教材本文の内容や構成、展開を、叙述を基に的確に捉えている。 ・また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、鑑賞に生かしている。 ・作品の内容・時代背景について調べ、批評や討論を通じて自己の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古語辞典等を用いて、古語の意味や用法だけでなく、語意の変遷や類義語などに関心をもって調べている。 ・定期的な課題や小テストに取り組む、古典の言語についての学習事項を定着させようとしている。 ・調べ学習や討論に取り組み、積極的に、学習を深め、伝え合おうとしている。	○	○	○	8
	単元：漢詩—近体詩 ・漢文訓読、解釈の基礎事項の復習。 ・漢詩（近体詩）の法則について既習事項の復習。 ・近体詩を読み味わう。 ・近体詩の発展、代表的な詩人や作品について知る。	教材：「竹里館」 ・「竹里館」の情景や心情を読み味わう。 ・漢文訓読の復習。 ・近体詩のきまりを復習。	○	○	○			○	○	○	7
	定期考査							○	○		1
	単元：歴史物語「大鏡」 ・古語と古典文法未習事項の習得。 ・平安中期の物語の読解に習熟する。 ・平安期の歴史物語の特色と、時代背景を理解する。 ・歴史上の人物や出来事がどのように文学化されたかを調べたり考察したりする。	教材：「雲林院の菩提講」「競べ弓」 ・「競べ弓」の読解を通じて事件の概要と登場人物の心理を的確に読み取る。 ・「大鏡」以外の歴史物語について調べ、時代背景と文学史的意義を知る。 ・古文単語の語彙を増やす。 ・古文の助詞・敬語の学習。	○	○	○		【知識・技能】 ・古文・漢文の語彙や文法について習得した知識を効果的に用いて予習・復習に取り組んでいる。 ・古文単語・古典文法・漢文句形などについて、知識を身につけ、課題に積極的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・各教材本文の内容や構成、展開を、叙述を基に的確に捉えている。 ・また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、鑑賞に生かしている。 ・作品の内容・時代背景について調べ、批評や討論を通じて自己の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に予習をして授業に臨んでいる。 ・古語辞典を使いこなし、古語の語彙を豊かにしようとしている。 ・定期的な課題や小テストに取り組む、古典の言語についての学習事項を定着させようとしている。 ・調べ学習や討論に取り組み、積極的に、学習を深め、伝え合おうとしている。	○	○	○	8
	単元：史伝「史記」 ・漢文訓読、解釈に習熟する。 ・「史記」本文の生き生きとした描写を味わう。 ・教材を通じて漢文の語彙を豊かにする。 ・重要な句形を理解し、読解に生かせるようになる。 ・古代中国の史伝を通じて、日本との文化的な違いと共通点、日本文化への歴史的な影響力について知る。	教材：「鴻門の会」 ・「鴻門の会」を読み、出来事の前後を含めて、内容を理解する。 ・登場人物の行動と心理を読み取り、それぞれの関係を正しく把握する。 ・ここでの出来事について考察を深め、討論する。 ・日本における「史記」の受容と日本文化への影響について調べ、意見を交わし合う。 ・漢文の語彙・句形の習得。	○	○	○			○	○	○	8
	定期考査							○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			話・聞	書	読						
3 学 期	単元：史伝「史記」 ・漢文訓読、解釈に習熟する。 ・「史記」本文の生き生きとした描写を味わう。 ・教材を通じて漢文の語彙を豊かにする。 ・重要な句形を理解し、読解に生かせるようになる。 ・日本文学における漢文の史伝や思想の受容について考察し、意見を伝え合う。	教材：「項王の最期」 ・「項王の最期」を読み、「鴻門の会」と関連づけながら、内容を理解する。 ・登場人物の行動と心理を読み取り、それぞれの関係を正しく把握する。 ・ここでの出来事について考察を深め、討論する。 ・項羽をめぐる逸話の後世での文学的展開を調べ、意見を交わし合って考察を深める。 ・漢文の語彙・句形の習得。	○	○	○	【知識・技能】 ・古文・漢文の語彙や文法について習得した知識を効果的に用いて予習・復習に取り組んでいる。 ・古文単語・古典文法・漢文句形などについて、知識を身につけ、課題に積極的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・各教材本文の内容や構成、展開を、叙述を基に的確に捉えている。 ・古文の物語文学を読み味わい、人物や自然の描写、効果的な構成について考察する。 ・作品の内容・時代背景について調べ、批評や討論を通じて自己の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古語辞典を使いこなし、古語の語彙を豊かにしようと取り組んでいる。 ・定期的な課題や小テストに取り組み、古典の言語についての学習事項を定着させようとしている。 ・調べ学習や討論に取り組み、積極的に、学習を深め、伝え合おうとしている。	○	○	○	5	
	単元：物語「源氏物語」 ・古語と古典文法の習得。 ・「源氏物語」の文章に親しみ、難度の高い古文に取り組む。 ・「源氏物語」の概要と表現の特色、時代背景について理解する。 ・「源氏物語」の文学史的意義と評価について知る。	教材：「光源氏の誕生」「若紫との出会い」 ・物語の内容を、古語や文法に則って的確に読み取り、理解する。 ・「源氏物語」の文章表現を読み味わい、漢詩文や和歌を用いた効果について学習する。 ・「源氏物語」の内容・成立・時代背景等について調べて考察し、意見を交わし合う。 ・古文単語の語彙を増やす。 ・古文の敬語・和歌の修辞・紛らわしい語の識別を習得する。	○	○	○		○	○	○	10	
	単元：歴史物語「大鏡」 ・古語と古典文法未習事項の習得。 ・平安中期の物語の読解に習熟する。 ・平安期の歴史物語の特色と、時代背景を理解する。 ・歴史上の人物や出来事がどのように文学化されたかを調べたり考察したりする。	教材：「花山院の出家」 ・「花山院の出家」の読解を通じて事件の概要と登場人物の心理を的確に読み取る。 ・古文単語の語彙を増やす。 ・古文の助詞・敬語・和歌の修辞の学習。	○	○	○		○	○	○	5	
	定期考査						○	○		1	
											合計
											83